



## よくある質問と長期休みのお知らせ

今回初めてコラムを担当します。縁あって4月から大館市の栗盛記念図書館で仕事をしています。まだまだ不慣れですがよろしくお願ひします。

図書館で仕事をするようになって驚いたことが色々ありますので、幾つか挙げてみます。

▽建物の気密性が非常に高い 開けられる窓が少なく、湿気もおいもこもりやすいです。夏場は冷房を入れても蒸し暑く感じます。

▽新刊が入るのが月に何度もある 特に小説は返却されたと思えばすぐに借りられていきます。予約が20人待ちの人気作もあります。

▽以前に比べ文庫や新書がずいぶん増えている ひとつ、新書の創刊ラッシュがあったのでそれが影響しているのでしょうか。

▽中学生や高校生の職場体験が頻繁にある 期間は2～3日の場合もありますし、ほんの数時間の場合もありますが、将来の仕事を考える際に何か参考になったり、いつか懐かしく思い出してもらえような体験になれば幸いです。

### ❖よくある質問

さて、今回はよく質問されることについて書いてみたいと思います。もしかしたら前にも取り上げられている話題かもしれませんが、書く人が違えば視点も違うと思いますのでご了承下さいませ。

▽「何冊まで借りられますか」

簡単にお答えすると「1枚のカードで10冊までです」となりますが、詳しく言うと「市内4か所の図書館から1枚のカードで10冊ずつ借りられます。移動図書館『おとり号』で借りた分は栗盛記念図書館に含まれます」となります。10冊というのは、雑誌、絵本、紙芝居、大型本など全部含めた数です。

▽「このシリーズで自分が読んでいないのはどれ」「この作者の本で自分が借りていないのは」

貸出、返却の管理はパソコンを使って行っていますが、残念ながら貸出の履歴は残りません。カウンターに「読書通帳」という、借りた本や読んだ本を記録できる冊子を用意してありますので、これをご利用になるのも1つの方法かと思います。

▽「BMって何ですか」「本の場所が『閉架』とあるけど、どこにあるの」  
ホームページの蔵書検索や館内にある蔵書検索端末で調べた方からよく聞かれます。例えば、検索結果に「請求記号 BM/910/ア/」や「場所 閉架」と表示されている場合です。

「BM」はブックモビルの略で、移動図書館、つまり大館市では「おおとり号」のことを指します。移動図書館は少なくなってきたと聞きましたが、隣の鹿角市でも運行しています。

「閉架」というのは、本を置いてある部屋で利用者に開放されていない場所のことをいいます。閉架式書庫ともいい、主に古い本や貴重な本があります。栗盛記念図書館では2階にあります。

どちらの場所にある本も、職員がお持ちしますので少々お時間をいただいています。また、おおとり号は曜日と時間帯によっては市内を巡回していることがありますので、そのような時は予約票を書きいただければより確実にご用意できます。聞かれることは少ないですが、検索には「新書」「家族」「多目」といった場所の表示もあります。ちなみに数行前に出て来た「請求記号」も本の場所を表しています。法則が分かれば、これを見て本を探し出すことができますので、機会があれば書いてみたいと思います。

#### ❁お知らせとお礼

では、最後にお知らせを1つ。10月1日から5日まで、栗盛記念図書館は蔵書点検のためお休みとなります。職員が総出で蔵書1冊1冊のバーコードを読み取る作業をします。これによって目録のデータと照合し、蔵書の有無を確認します。「せっかく来たのに休みだった！」とならないよう、ご留意下さいませ。返却は正面玄関前にあるブックポストをご利用できます。花矢、比内、田代の3カ所は1日の月曜日を除き、通常通り開館します。

最後の最後に。9月初め、利用者の方が正面入り口前の花壇の草取りをしてくださり、松葉牡丹も植えてくださいました。あまりの草の繁茂ぶりを見かねたのかもかもしれませんが、お心遣いありがとうございます。（栗盛・真）